

文鳥舎ことのはライブ

# 牧野信一 作品 朗読会

2005年 3月26日(土)

開演 午後5時 (開場 午後4時半)

朗読 蔀 英治

講演 正津 勉

会費 2,000円 (ドリンク付) ・要予約

終演後懇親会 (午後7時より)

会費 別途 3,000円

会場 文鳥舎 (JR三鷹駅南口徒歩約5分)

電話 0422-79-3777

E mail : bunchou@parkcity.ne.jp

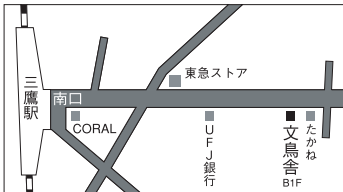
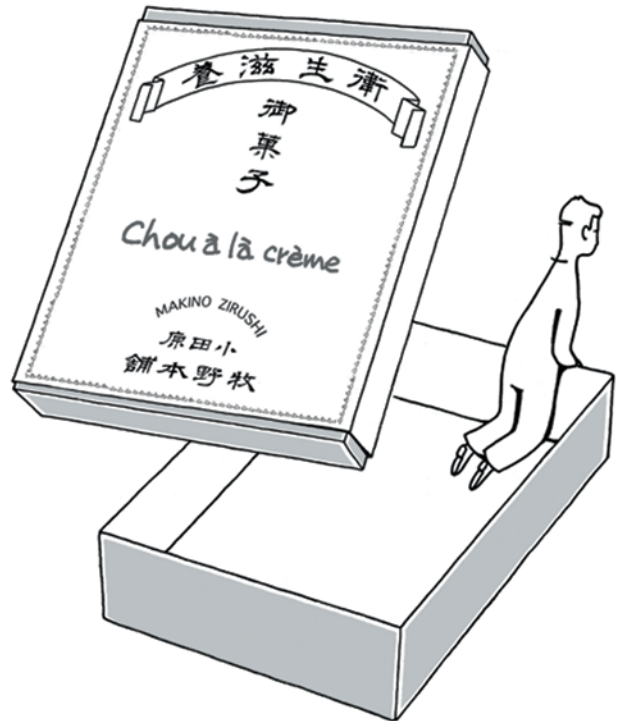
# 第七回 「爪」・「父を売る子」

蔀 英治 (しとみ えいじ) 俳優

シエイクスピア・シアターにて多数の舞台に出演後、現在フリーで活躍中。  
最近は、当連続朗読会での牧野信一作品のほか、デイケンズやO・ヘンリー等英米翻訳小説(グローブ文芸朗読会)、  
中原中也の詩(武宮朗読会)、シューベルトの歌曲「白鳥の歌」コンサートにてハイネ他の詩の朗読を担当など、  
内外の文芸作品の、声による現前にも演技の場を広げている。

正津 勉 (しょうづ べん) 詩人

七二年に詩集「惨事」(国文社)で詩壇デビュー。自虐的かつ暴力的な詩的言語で注目を浴び、  
以後、七〇年代詩人のひとりとして、ながく活発な詩作活動を展開中。  
主な詩集に『エヴァ』『死ノ歌』『正津勉詩集(現代詩文庫)』のほか、近年の山への愛を詠う『遊山』(思潮社)など。  
随筆・批評に『詩人の愛』『刹那の恋、永遠の愛』(河出書房新社)、『人はなぜ山を詠うのか』(アーツアンドクラフト)。  
小説集に『笑いかわせみ』(河出書房新社)がある。



南口より中央商店街を南に直進徒歩5分ほど  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-32-3  
グリーンパルコB1



文鳥舎

HP から座席確認、ご予約いただけます。

主催 文鳥舎 <http://www12.plala.or.jp/bunchousha/>

協賛 「続・西部劇通信」 <http://www.connec.co.jp/makinos/>

早大卒業生13人による同人誌十三人(大正8創刊)2号掲載の「爪」が鳥崎藤村に激賞された。



牧野信一 (1896-1936)

明治29年、小田原生。処女作「爪」で文壇に登場。出世作「父を売る子」を経て「鱗雲」「ゼーロン」「鬼涙村」など多数の傑作を生み出すも、昭和11年、小田原の実家で自死。